

2024年9月27日

一般財団法人セガサミー文化芸術財団

愛知県芸術劇場 × Dance Base Yokohama **パフォーミングアーツ・セレクション 2024 開催のご案内** **愛知公演(愛知県芸術劇場)で4つの新作を発表、神奈川公演(YPAM連携** **プログラム/KAAT神奈川芸術劇場)で新作ほか2作品を再演**

一般財団法人セガサミー文化芸術財団(所在地:神奈川県横浜市、代表理事:里見治紀)が運営する「Dance Base Yokohama(ダンスベースヨコハマ)」は、愛知県芸術劇場と共に、2021年以来、今年で4度目のショーケースとなる『愛知県芸術劇場 × Dance Base Yokohama パフォーミングアーツ・セレクション 2024』を開催いたします。

本年は、愛知公演で4つの新作を世界初演し、神奈川公演では、愛知で発表した3つの新作と2023年に発表した2作品の再演を行います。

愛知公演『間(あいた)の時間』は、11月30日(土)、12月1日(日)に愛知県芸術劇場小ホールにて、神奈川公演は、12月7日(土)~9日(月)にYPAM(Yokohama International Performing Arts Meeting) 連携プログラムとして、KAAT 神奈川芸術劇場(ホール)にて開催いたします。

「Dance Base Yokohama」は、ダンスを中心とするパフォーミングアーツ作品の創作を目的に、地域や文化芸術を愛する方のために開かれたダンスハウスです。2020年6月にオープン以降、ワークショップや実験的なトライアウト公演の企画・運営、海外アーティストやカンパニー招聘、ダンスアーカイブ事業などを行い、振付家やダンサーのみならず、様々な分野のクリエイター、批評家、研究者、プロダクションスタッフ、そして観客の交流拠点を目指しています。今後も舞台芸術を発信してまいりますので、どうぞご期待ください。

以上

2024.9.26

Dance Base Yokohama



愛知県芸術劇場×Dance Base Yokohama

パフォーミングアーツ・セレクション 2024 開催のご案内

11～12月、愛知公演「^{あいだ}間の時間」(愛知県芸術劇場)で4つの新作を発表、
神奈川公演(YPAM連携プログラム/KAAT神奈川芸術劇場)で新作ほか2作品を再演



愛知県芸術劇場とDance Base Yokohama (DaBY)は、2021年以来、今年4度目のショーケース「愛知県芸術劇場×Dance Base Yokohama パフォーミングアーツ・セレクション2024」を開催します。本年は、愛知公演で4つの新作を世界初演し、神奈川公演では、愛知で発表した3つの新作と2023年に発表した2作品の再演を行います。

愛知公演「間(あいだ)の時間」は、11月30日(土)、12月1日(日)に、愛知県芸術劇場小ホールにて。神奈川公演は、12月7日(土)～9日(月)に、YPAM (Yokohama International Performing Arts Meeting) 連携プログラムとして、KAAT神奈川芸術劇場〈ホール〉にて開催します。

愛知公演では、4組の新作をA・Bの2つのプログラムで上演します。
【Aプログラム】で上演するのは、岡田利規による演出・脚本により、バレエダンサー酒井はなが「バレエ系YouTuberはな」として、ロマンティックバレエの傑作ジゼルを紹介する『ジゼルのあらすじ』。そして、ウィリアム・フォーサイスと約10年にわたり活動した島地保武が、DaBYレジデンスダンサーたちへフォーサイスとの創作体験や手法を共有しながら創作した、踊る喜びがあふれる『Dance for Pleasure』です。

【Bプログラム】では、1980年代後半に生まれた同世代4名の振付家・ダンサーが、2組のデュオを発表します。
音楽やファッション、デザインや現代アート等の多様な領域を軽やかに行き交う小暮香帆とハラサオリは、歌舞伎における異性装や幽霊といった性表現の再解釈を行う『ポスト・ゴースト』を発表。鈴木竜と岡本優は、鈴木が幼少期から親しんできた「けん玉」の身体性を解体し、舞踊として新たに再構築する異色作『TAMA』*を上演します。
*『TAMA』の上演は愛知のみ

尚、神奈川公演では、昨年発表した2つのデュオ、島地保武×環ROY『あいので』、そして新たな出演者として堀田千晶を迎えた柿崎麻莉子『Can't-Sleeper』を再演し、新作とあわせて2つのプログラムで上演します。

愛知県芸術劇場とDance Base Yokohamaが、身体表現を拡張する日本のアーティストたちと共に生み出す4つの新作と、時を重ねて深められた再演に、どうぞご注目ください。

本企画プロデューサーの唐津絵理、およびアーティストへの取材をご希望の際には、下記担当までご連絡をいただけますよう、お願いいたします。

OUTLINE / STAFF CREDIT

【愛知公演】（世界初演）

名称	愛知県芸術劇場×Dance Base Yokohama パフォーミングアーツ・セレクション2024「間（あいだ）の時間」
日程	2024年11月30日(土) 14:00 [A] / 17:00 [B]、12月1日(日) 13:00 [A] / 16:00 [B] *開場は開演の30分前 *11月30日のみ託児サービスあり（有料・要予約）
上演作品	【Aプログラム】岡田利規×酒井はな『ジゼルのあらすじ』 島地保武『Dance for Pleasure』 【Bプログラム】小暮香帆×ハラサオリ『ポスト・ゴースト』 鈴木竜×岡本優『TAMA』
会場	愛知県芸術劇場 小ホール（〒461-8525 愛知県名古屋市中区東桜1丁目13-2） https://www-stage.aac.pref.aichi.jp/access.html
詳細	https://www-stage.aac.pref.aichi.jp/event/archive/detail2024/24_minisele/index.html

主催・企画・共同製作 | 愛知県芸術劇場、Dance Base Yokohama [一般財団法人セガサミー文化芸術財団]
お問合せ | 愛知県芸術劇場 TEL: 052-211-7552(10:00~18:00) FAX: 052-971-5541 Email: contact@aaf.or.jp
助成 | 文化芸術基盤強化基金（クリエイター等育成・文化施設高付加価値化支援事業）、独立行政法人日本芸術文化振興会
協力 | 株式会社precog



【神奈川公演】 ※詳細は後日発表

名称	愛知県芸術劇場×Dance Base Yokohama パフォーミングアーツ・セレクション2024
日程	2024年12月7日(土) 19:00 [A]、8日(日) 13:00 [B] / 19:00 [A]、9日(月) 14:00 [B]
上演作品	【Aプログラム】 [新作] 小暮香帆×ハラサオリ『ポスト・ゴースト』 [新作] 島地保武『Dance for Pleasure』 【Bプログラム】 [新作] 岡田利規×酒井はな『ジゼルのあらすじ』 [再演] 柿崎麻莉子×堀田千晶『Can't-Sleeper』 [再演] 島地保武×環ROY『あいので』
会場	KAAT神奈川芸術劇場〈ホール〉（〒231-0023 神奈川県横浜市中区山下町281） https://www.kaat.jp/access
詳細	https://dancebase.yokohama/event_post/pas2024



主催・企画・共同製作 | 愛知県芸術劇場、Dance Base Yokohama [一般財団法人セガサミー文化芸術財団]
お問合せ | Dance Base Yokohama Email: contact@dancebase.yokohama
共催 | 横浜国際舞台芸術ミーティング実行委員会 助成 | 芸術文化振興基金助成事業 協力 | 株式会社precog

プロデューサー | 唐津絵理 (愛知県芸術劇場/DaBY)
プロダクションマネージャー | 世古口善徳 (愛知県芸術劇場)
舞台監督 | 川上大二郎 (スケラボ) 照明デザイン | 榎田晃代 音響デザイン | 中原楽

WORK SHOP / OPEN STUDIO

本公演の関連イベントとして、愛知県芸術劇場にて、愛知県芸術劇場×Dance Base Yokohama「パフォーミングアーツ・セレクション2024」アーティストによるワークショップおよびリハーサルのオープンスタジオを開催します。

ワークショップ講師：岡田利規、酒井はな、島地保武
会場：愛知県芸術劇場
日程：2024年11月下旬を予定
詳細：https://dancebase.yokohama/event_post/pas2024-event ※随時更新いたしますので、詳細発表をお待ち下さい。

PROGRAM

*DaBYゲストアーティスト/ **DaBYレジデンスダンサー /*** DaBYレジデンスアーティスト

※アーティストプロフィールは右記よりご確認ください。https://dancebase.yokohama/event_post/pas2024

岡田利規×酒井はな『ジゼルのあらすじ』

2021年の「ダンスの系譜学」で初演を迎え、その後国内外13会場で上演、各地で大盛況を博した、環境問題をテーマに扱う『瀕死の白鳥 その死の真相』に続き、岡田利規と酒井はなが取り組む新作の第二弾。本作では、バレエ系YouTuberはなが、ロマンティックバレエの傑作『ジゼル』のあらすじを紹介する。

演出・脚本 | 岡田利規*

出演 | 酒井はな*

舞台美術 | 佐々木文美



ダンスの系譜学『瀕死の白鳥 その死の真相』

©Naoshi Hatori

島地保武『Dance for Pleasure』

世界的な振付家ウィリアム・フォーサイスとの活動をはじめ、分野を横断した様々なアーティストと協働してきた島地保武が、11名のダンサーと創作するアンサンブル作品。「ダンスそのものの追求」と語る島地とダンサーたちが相互に関連して生まれる景色から、何が見えてくるだろうか。

演出・振付・出演 | 島地保武*

リハーサルディレクター・出演 | 貝ヶ石奈美

出演** | 木ノ内乃々、鈴木大翔、畠中真濃、藤村港平、堀川七菜、山口泰侑、Liel Fibak

アンダーキャスト** | 青柳潤、星野めいや

アプレントイス** | 織田若菜

音楽：岡直人



©Joseph Marcinsky

小暮香帆×ハラサオリ『ポスト・ゴースト』

デザイン理論や生態心理学を参照した創作手法で注目を集めるハラサオリと、強靱な身体性と繊細な表現力を併せ持ち、独自の存在感を放つ小暮香帆による新作デュオ。歌舞伎における異性装や幽霊といった性表現の再解釈へ共に取り組む。

演出・出演 | ハラサオリ ***

振付・出演 | 小暮香帆 ***

ドラマトウルク | 丹羽青人 (DaBY)

衣裳 | 藤谷香子



©Yulia Skogoreva

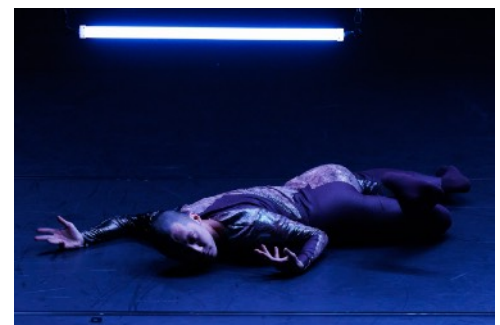
鈴木竜×岡本優『TAMA』

「鈴木竜トリプルビル」や現代美術作家の大巻伸嗣、サウンドアーティストのevalaと協働したフルイブニング作品『Rain』など、愛知県芸術劇場にて複数の初演を行ってきた鈴木竜と、自身が主宰するカンパニーの活動や公演へのゲスト出演など、大活躍の岡本優。同世代の二人が初タッグを組み、鈴木が幼少期から親しんできた「けん玉」の身体性を解体し、舞踊として新たに再構築する異色作。

演出・振付・出演 | 鈴木竜***

出演 | 岡本優

音楽 | 音無史哉



鈴木竜トリプルビル『never thought it would』

©Naoshi Hatori

トリプルビル「目覚めの前のエクリチュール」(2023年初演)より

*DaBYゲストアーティスト/ **DaBYレジデンスダンサー /*** DaBYレジデンスアーティスト

『Can't-Sleeper』

バットシェバ・アンサンブル出身で、今世界で注目を集める振付家のシャロン・エイヤール率いるL-E-Vダンスカンパニーのもとで活動してきた柿崎麻莉子とAlice Godfrey (元NDT)が、作品タイトルでもある「不眠」をテーマにした作品。柿崎が取り組んだのは「寝る前にふと思いで安心してできるような、眠れない夜に救いを与えてくれるようなダンス」。

演出・振付・出演 | 柿崎麻莉子***

振付・初演出演 | アリス・ゴドフリー

出演 | 堀田千晶

音楽 | 中野公揮ほか

衣裳 | Chika Kisada

アドバイザー | 丹羽青人 (DaBY)

リサーチ協力 | 坂田賢隆、Sleeping Life Murata



詳細 | <https://dancebase.yokohama/production/cant-sleeper/>

『あいのて』

世界的な振付家ウィリアム・フォーサイスとの活動を初め、国内外で作品を発表してきたダンサーの島地保武と、音楽を軸にパフォーマンスやインスタレーションといった領域で活躍するラッパーの環ROYが、前作『ありか』を経て創作した「哲学的コント」とも呼ぶべき作品。

ドラマトゥルギーの長島確が「意識と感情と記憶と体についての、非常に変則的なかけ合い漫才か、ある種のレクチャーパフォーマンスとも言える」と語る島地と環の2作目。

演出・出演 | 島地保武*

テキスト・出演 | 環ROY*

ドラマトゥルギー | 長島確



詳細 | <https://dancebase.yokohama/production/ainote/>



©Takayuki Abe

プロデュース：唐津 絵理 Eri Karatsu

愛知県芸術劇場 常務理事 芸術監督 (アーティスティックディレクター)

DaBY アーティスティックディレクター

お茶の水女子大学文教育学部舞踊教育学科卒業、同大学院人文科学研究科修了。舞台活動を経て、1993年より日本初の舞踊学芸員として愛知芸術文化センターに勤務。2003年に所属の愛知県文化情報センターで第1回アサヒ芸術賞受賞。2010年～16年あいちトリエンナーレのキュレーター(パフォーミング・アーツ)。大規模な国際共同製作から実験的パフォーマンスまでプロデュース、招聘した作品やプロジェクトは200を超える。また愛知県発信の国内外ツアーを多数開催、最近ではフランス、香港、アメリカ等の劇場やフェスティバルから招聘された。講演会、執筆、アドバイザー等、日本の舞台芸術や劇場の環境整備のための様々な活動を行っている。著書に『身体の知性』等。

2023年3月、令和4年度芸術選奨文部科学大臣賞 芸術振興部門 大臣賞を受賞。

2024年7月から常務理事 芸術監督 (アーティスティックディレクター)。

Dance Base Yokohama

ダンスを中心とするパフォーミングアーツ作品の創作を目的に、地域や文化芸術を愛する方のために開かれたダンスハウスとして2020年6月横浜を拠点に設立された。ワークショップや実験的なトライアウト公演の企画・運営、海外アーティストやカンパニー招聘、ダンスアーカイブ事業などを行い、振付家やダンサーのみならず、さまざまな分野のクリエイター、批評家、研究者、プロダクションスタッフ、そして観客の交流拠点をめざしている。

一般財団法人セガサミー文化芸術財団が運営し、アーティスティックディレクターを唐津絵理 (愛知県芸術劇場常務理事 芸術監督) が務める。ダンス、パフォーミングアーツ領域全体の活動環境の整備、アーティスト・ダンサー・スタッフの権利擁護、観客・市場拡大施策等を展開する。2023年5月に健全な創作環境を構築するため、「フェアトレード」の考え方を応用したDaBY独自の概念「DaBYフェアクリエイション宣言」を発表。

2020年「ダンスを社会にひらく」コンセプトが評価され、2020年度グッドデザイン賞受賞。2021年ロゴマークが東京TDC賞2021に入選。2023年、アーティストに作品創作の場を提供して、実験的なプログラムを企画し、社会にひらかれたダンスハウスとして多様な人々の交流を促進し、ダンス文化の発展と改革に向けて挑戦している点が評価され「メセナアワード2023」メセナ大賞を受賞。